

自己評価報告書

平成23年4月1日現在

機関番号：32508

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2012

課題番号：20320044

研究課題名（和文）

ロマン主義時代の旅行記とその歴史的背景—国家意識・国民意識の変容を中心にして

研究課題名（英文） Travel Literature and Its Historical Background in the Romantic Period: Changing Consciousnesses of Nation and National Identity in Britain

研究代表者

草光俊雄（KUSAMITSU TOSHIO）

放送大学・教養学部・教授

研究者番号：90225136

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：（1）ロマン主義、（2）帝国、（3）旅行記、（4）グランド・ツアー、
（5）国民意識、（6）国家意識、（7）オリエント、（8）植民地主義

1. 研究計画の概要

イギリスが進出していった各地域の旅行記を洗い出し、国家意識・国民意識が言説にどのように潜んでいるか分析と調査を継続し、3月末までにいったん区切りをつけて、研究をとりまとめた。

草光（研究代表者）は全体を統括する責務を負いながら、フランスおよびイタリアの旅行記も管轄する。夏期にイタリアへの調査旅行を行うことにした。現在北欧の旅行記について研究している石幡（研究分担者）は、ドイツと北欧の旅行記の調査・分析を担当すると同時に、研究を論考の形でまとめる計画とした。

北米での研究経験が長く、オーストラリア・ニュージーランドの状況にも詳しいアルヴィ（研究分担者）は北米およびオーストラリアを管轄することにした。ロマン主義とアジアに関心を持つ鈴木雅之（研究分担者）および鈴木美津子（研究分担者）はインド、中国および日本を担当することになった。

Byron 研究を中心に行っている笠原（研究分担者）はトルコやエジプトを含む地中海および中近東の旅行記を担当した。

大西洋奴隷貿易および福音主義運動について現在研究している大石（研究分担者）はアフリカの旅行記および福音主義伝導師によるアジア・南アメリカ旅行記を担当する。南アメリカ全体については全員が協力して調査・分析にあたった。

2. 研究の進捗状況

18世紀から19世紀にかけてイギリスが進出した各地域の旅行記の中に潜む国家意識・国民意識を分析する調査を継続した。草光俊雄が全体を統括しながら、調査を行うと同時に、イタリアから専門家を招聘し研究セミナーを開催した。

石幡は、メアリ・ウルストンクラフトの『北欧からの手紙』の翻訳を終えて、訳者解説を執筆した。鈴木雅之はフェリシア・ヘマンズ作品『返還』と『近代ギリシャ』に焦点をあて、フランスからローマへ、あるいはギリシャからイギリスへの美術品の移動、帝国などに対するヘマンズの姿勢、さらには当時の英国美術界の状況を明らかにすることで、帝国と国民意識の問題に迫った。鈴木美津子はシャーロット・ブロンテの『ヴィレット』とエリザベス・ギャスケルの『北と南』を取り上げ、これらヴィクトリア朝の小説に描かれた旅、そして地方意識・国民意識の形成について検証した。さらに、笠原は、剣闘士を扱った詩または詩の一部の系譜を18世紀の詩にたどることで、ローマ帝国の制度化された蛮行に対する義憤が当時の言説に頻繁に表現されていることを特記し、そこに当時の国民意識の変容の過程を読み取りようとした。

一方で、アルヴィは S.T. コウルリッジの『クブラ・カーン』（1797）とイギリスのマックアートニー卿使節団派遣との関係を精査しながら、東インド会社のカシミール支配と中国政策との関係と本国政府との軋轢を明らかにし、1790年代のグローバル化する世界の中でのイギリスと帝国清朝との関係を究明した。大石は、ヘレン・マライア・ウィリアムズの作品に描かれたペルーの歴史物語詩の中に、当時における英国とスペインとの対立を見出し、国民意識の変容を論じると同時に、17世紀後半から前半のグランド・ツアーの中に新しい審美眼と国民意識の萌芽を見出すことに成功した。各研究者はそれぞれの成果を論文あるいは学会発表を通して公表した。

3. 現在までの達成度

各自の研究領域にしたがっておおむね研究は遂行されていると考えている。

(理由) 研究会や研究打合せは当初予定していたほど頻繁に開催することは、学務の都合上難しいが、学会の開催時やそれぞれの学会での研究発表に際して意見交換を行ってきたり、互いの研究論文を交換し、査読することで、研究成果のアップデートもできている。

ヨーロッパ内(北欧を含む)、インド、北米、南米についてはカバーをできているが、今後問題となるのは、アジア全体とアフリカである。平成23年度の研究ではアジアを主な焦点として、研究を展開できればいいと考えている。

4. 今後の研究の推進方策

これまでの研究の問題点を解決しながら、旅行記を中心とする異文化を素材として扱う言説を分析し、異文化間交渉の表象の問題を究明していくこととする。平成23年度7月半ばには大石(研究分担者)が中心となって神戸においてオリエンとロマン主義旅行記をテーマにした国際学会を主催する(謝金および会場費を計上)。また、9月初旬には草光(研究代表者)が中心となって、消費と流通という角度から旅と移動をテーマにした国際研究集会を東京において開催予定である(謝金および会場費を計上)。

草光(研究代表者)は全体を統括する責務を負う。主に9月の国際研究集会についての準備、連絡を行いながら、消費と流通という角度から移動について歴史的考察をする。夏期に海外調査を取り行う予定である。

アルヴィ(研究分担者)は、カナダから Alan Bewell 氏を招聘し、ロマン主義時代における移動・旅について研究会を開催すると同時に(Bewell 氏の招聘・講演旅費を計上)。Charles Sangster ら、イギリス・ロマン派の詩に親しみ、北米へ移動した詩人たちが、イギリス・ロマン主義の詩と北米の新世界をどのように折りあわせて、作品化していったかを考察する。

現在北欧の旅行記について研究している石幡(研究分担者)は、メアリ・ウルストンクラフトの『北欧からの手紙』(*Letters Written during a Short Residence in Sweden, Norway, and Denmark*)の翻訳の最終校正を終え、同書の旅行記、文明論、比較文化論、女権論としての意義について解説を付して出版する。

ロマン主義とアジアに関心を持つ鈴木雅之(研究分担者)は、視覚的な側面からブレイクおよびコウルリッジの異文化交渉についての言説に切り込み、海外調査を取り行うと同時に、7月の国際学会において講演を行う。

鈴木美津子(研究分担者)は、インドや中国を主な射程に入れながら、小説を研究題材

としながら研究を遂行し、海外調査・資料収集を取り行いながら論文を執筆する。

笠原順路(研究分担者)は、Hemans, 'The Statue of the Dying Gladiator'を精読し、註釈をほどこしながら、Peter Otto, 'Multiplying Worlds'を精読し、18-19世紀における視覚の問題点を検討する。

大石和欣(研究分担者)は、7月半ばの国際学会の事務的な手続きをすべて取りしきりながら(運営費、謝金、会場費、Deirdre Coleman 氏の招聘旅費)、学会中の優れた研究発表を集め、ロマン主義時代における旅行記を中心とした言説に見られる異文化間交渉の表象についての論文集の編集を行い平成23年度12月に出版する。また、アフリカの旅行記および福音主義伝導師によるアジア・南アメリカ旅行記についての研究および論文執筆も進める。

それぞれ並行して調査を進めるが、7月の国際学会の際、9月の国際研究集会の際、および10月のロマン派学会に際して意見交換を適宜執り行いながら、相互関連性を探っていく。ポスト・コロニアリズム文学研究などについても、国際学会・国際研究集会を通して情報を海外の研究者とも交換しながら、3月までに、学会を含めたこれまでの研究成果をとりまとめていくこととする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

鈴木雅之(研究分担者)「1816年ロンドン——フェリシア・ヘマンズ、ナポレオン戦争、美術品の移動」『英文学会誌』第39号(2011年2月)、26-52頁。宮城学院女子大学学芸学部英文学会。査読有。

笠原順路(研究分担者)「英詩註解:ロマン主義時代の剣闘士詩(1)——William Hayley, Robert Chinnery」明星大学教育学部編『教育学部研究紀要』第1号(2011)、pp. 179-86。査読無。

大石和欣(研究分担者)「FranceからPeruへ——Helen Maria Williamsの歴史記述の周縁性」『日本ジョンソン協会年報』34号(2010)、pp. 1-5。査読有。

〔学会発表〕(計6件)

アルヴィなほ子(研究分担者) (招待講演) “Kubla Khan” and Orientalism’ The 40th Anniversary Wordsworth Summer Conference 2010年8月5日 Grasmere, UK.

〔図書〕(計1件)

鈴木美津子(研究分担者)「『北と南』とロマン主義時代の歴史小説」、『エリザベス・ギャスケルとイギリス文学の伝統』、大阪教育図書、2010年9月、pp. 347-57。